

2026年2月期 第3四半期
SFPホールディングス株式会社
決算補足資料

FY2026 3Q 2025.3.1 – 2025.11.30
Financial material

証券コード：3198 (TYO)

FY2026 3Q ハイライト	P3
売上高	P4
原価率	P5
販売管理費	P6
営業利益	P7
損益計算書	P8
今後の取り組みについて	P9
業績ガイダンス	P13
株主還元	P14
Appendix	P15

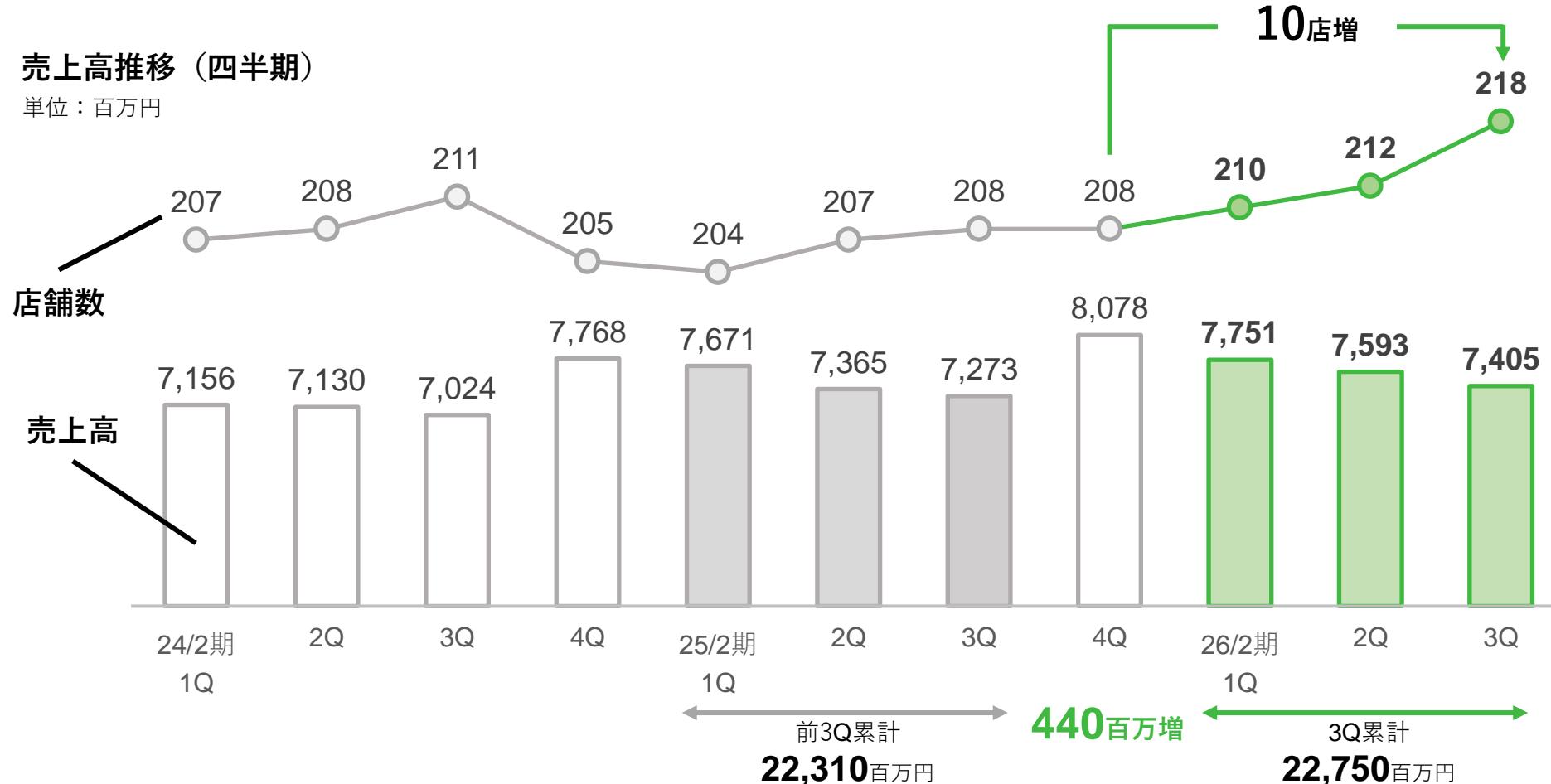
FY2026 3Q ハイライト

- ・売上高：前期比102% 『五の五』好調と継続的な出店でしっかり増収
- ・仕入れ価格の上昇基調は引き続き、一時的に出店関連費拡大も商戦期4Qに向け出店加速（3Q単 出店 8）

(百万円・%)	2025年2月期	2026年2月期		
	3Q累計 (24年3月～11月)	3Q累計 (25年3月～11月)	前期比	
		金額	%	
売上高	22,310	22,750	440	102.0%
売上原価 (売上高構成比)	6,525 (29.2%)	6,872 (30.2%)	347 (+1pt)	105.3%
販売費及び一般管理費 (売上高構成比)	14,420 (64.6%)	14,851 (65.3%)	431 (+0.6pt)	103.0%
営業利益 (売上高構成比)	1,364 (6.1%)	1,025 (4.5%)	△338 (△1.6pt)	75.2%

売上高 四半期推移

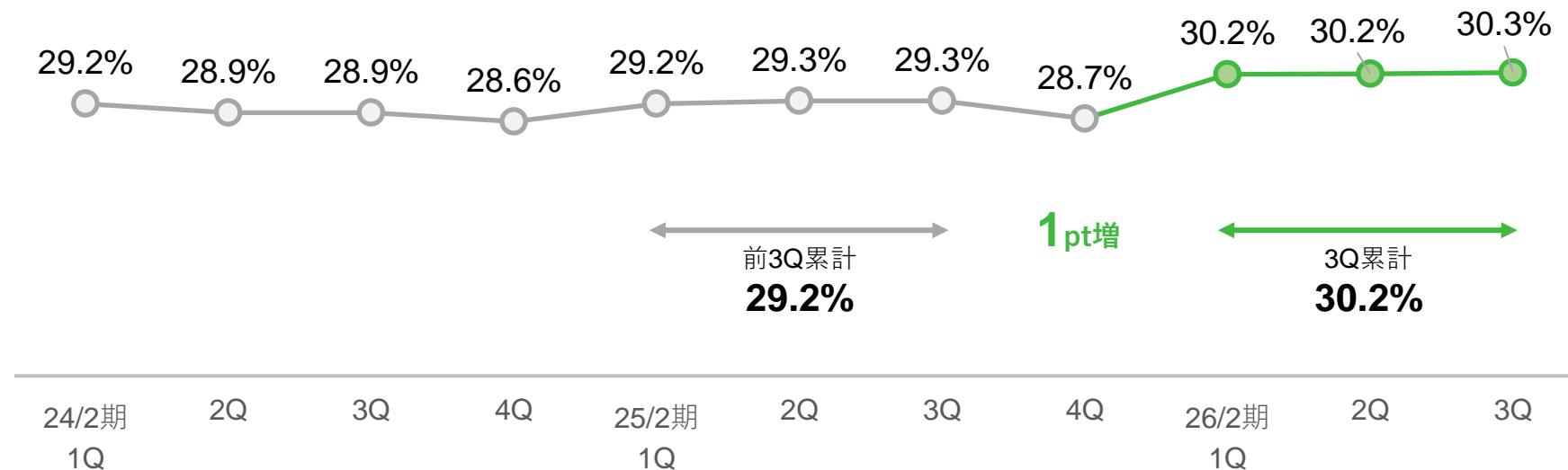
- ・売上高：22,750百万円（前期差440百万円・前期比102.0%）
- ・積極的な新規出店により、前年同期末比で10店舗増（計218店）年末年始商戦へ体制整う
- ・注力業態『五の五』が增收を牽引（前期比113.5%／その他事業）



原価率 四半期推移

- ・原価率：30.2%（前年同期比 +1pt）
- ・コメ、生ビール、青果類を中心に、依然として仕入れ価格は上昇基調が継続
- ・主力『磯丸水産』で1Q（4月）、2Q（8月）と段階的にメニュー改定。原価率改善に注力
- ・商戦期（年末年始）を含む4Qは高マージンな酒類販売の構成増で原価率低下見込む

原価率の推移（四半期）

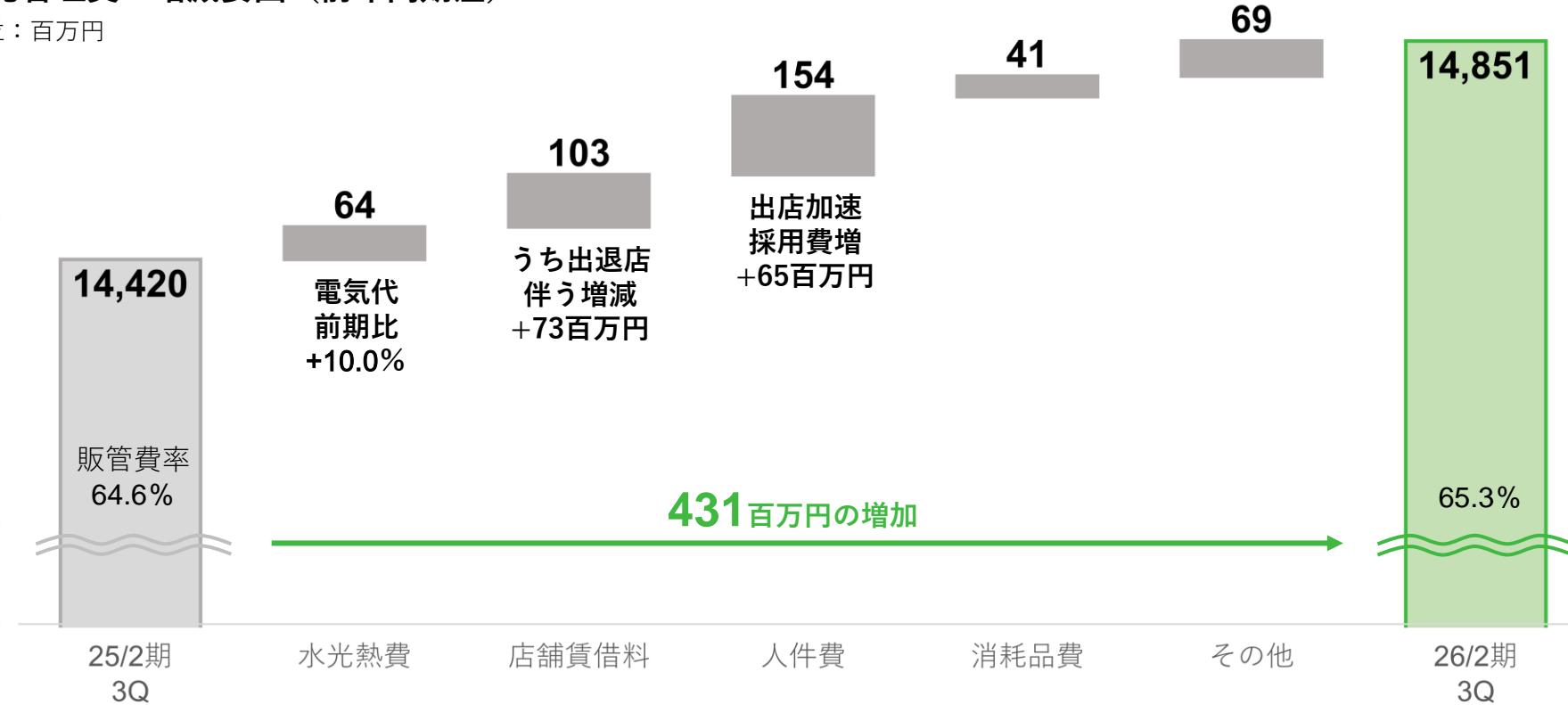


販売管理費 (3Q累計)

- ・販売管理費：14,851百万円（前期差 431百万円・前期比 103.0%）
- ・出店加速に伴い店舗賃借料、採用費増も計画内で推移。增收で吸収しつつ、販管費率は概ね前年並み

販売管理費の増減要因（前年同期差）

単位：百万円

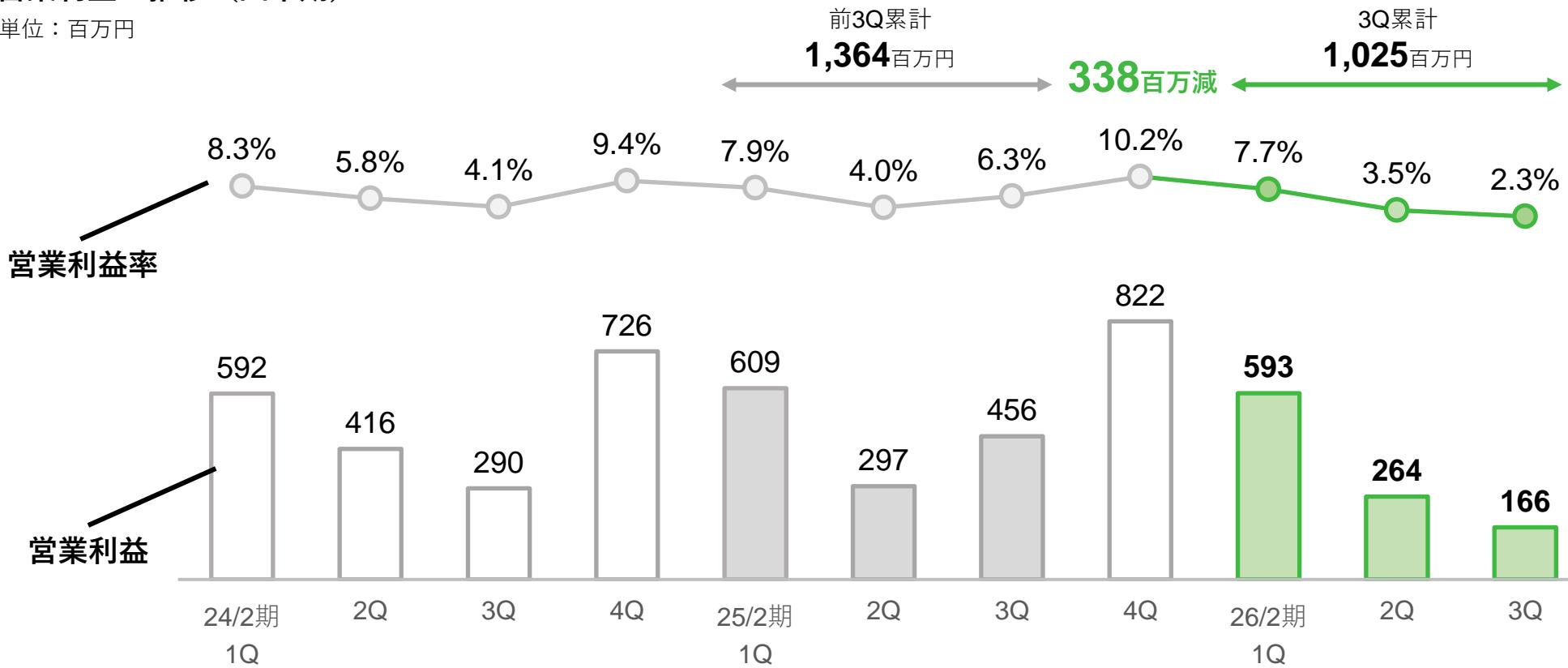


営業利益 四半期推移

- ・営業利益：1,025百万円（前期差 △338百万円・前期比 75.2%）
- ・原価、コスト増を吸収しきれず3Qまで減益も、店舗数拡大で商戦期（年末年始）を含む4Qに挽回狙う

営業利益の推移（四半期）

単位：百万円



損益計算書

・営業外損益 前期差△81百万円：主に酒造メーカー協賛金収入の減少△53百万円

(百万円)	26年2月期 3Q (25年3月～11月)	25年2月期		24年2月期	
		3Q (24年3月～11月)	増減	3Q (23年3月～11月)	増減
売上高	22,750	22,310	440	21,310	1,439
売上原価	6,872	6,525	347	6,181	691
売上総利益	15,877	15,784	92	15,129	748
販管費及び一般管理費	14,851	14,420	431	13,829	1,022
営業利益	1,025	1,364	△338	1,300	△274
営業外損益	91	173	△81	152	△60
経常利益	1,117	1,537	△420	1,452	△335
特別損益	△89	0	△89	△295	205
税引前当期純利益	1,028	1,538	△510	1,157	△129
法人税等合計	339	503	△163	310	29
当期純利益	688	1,035	△346	847	△158

今後の取り組みについて（重点施策）



大衆酒場
五の五 鳥良商店®

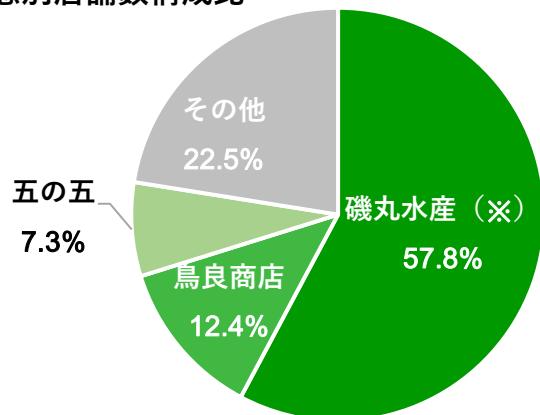
新規出店

- ・3Q 新規出店8店 広島、郡山（福島）、浜松に初出店。大阪・なんばでは『磯丸水産』最大店オープン
- ・通期 『磯丸水産』開拓と『五の五』など大衆業態で足場固め、出店加速で通期15店出店へ

エリア別店舗数

エリア	2025年11月末時点				全店
	磯丸水産	鳥良商店	五の五	その他	
関東	84	26	10	27	147
近畿	18	1	5	1	25
中部	13	0	0	11	24
九州	8	0	0	9	17
東北	2	0	1	1	4
北海道	1	0	0	0	1
店舗数	126	27	16	49	218

業態別店舗数構成比



26/2期 出店予定 (4Q以降、店舗仮称)

- | | | |
|----|----------|-------------------------|
| 1Q | 4/18 | 磯丸水産食堂ららぽーと安城店 (FC・愛知) |
| 1Q | 5/7 | 和牛焼肉信州そだち (運営受託・長野) |
| 2Q | 6/16 | 磯丸水産天王寺北口店 |
| 2Q | 8/18 | 鉄板ホルモン五の五 十三店 |
| 3Q | 9/10 | 磯丸水産広島胡通り店 (FC・広島) |
| 3Q | 9/25 | 磯丸水産食堂ジアウトレット湘南平塚店 (FC) |
| 3Q | 10/3 | からあげセンターイオンモール須坂店 (長野) |
| 3Q | 10/6 | 五の五郡山駅前店 (福島) |
| 3Q | 10/6 | 磯丸水産郡山駅前店 (福島) |
| 3Q | 10/29 | 磯丸水産千日前通店 (磯丸水産最大) |
| 3Q | 11/2 | とろたく上大岡店 |
| 3Q | 11/22 | 磯丸水産浜松有楽街店 (静岡) |
| 4Q | 26/1/5 | 桜馬亭 (熊本) |
| 4Q | 26/1/15予 | 五の五西銀座通店 (熊本) |
| 4Q | 26/2月予 | とろたく神田店 |

OPEN



磯丸水産千日前通店

10/29開業 総席数 274席・24時間営業

- リピート率の向上を目的として、2026年2月にリリース予定

アプリ仕様

- モバイルオーダー連携^(※1)で、
お会計額に応じた独自ポイント「磯マイル」を獲得！
獲得したマイルに応じてランクアップ！
- 貯まった磯マイルは店舗で使えるクーポンに交換！
- 毎日挑戦できるゲームでもクーポン獲得！



磯マイル
獲得



(※1) モバイルオーダー「ぐるなびFineOrder」対応店舗のみ「磯マイル」獲得可能です
 (※2) イメージ画像は開発中につき変更される場合があります

収益構造転換へ

鳥良商店®

SFP
HOLDINGS

- ・低価格ドリンク+大衆感演出で来客数増狙う。3Qまでに全27店でリニューアル完了
- ・リニューアル効果、売上高前年比 111%と順調に推移

戦略的価格（集客）

生ビール（税抜価格）

544円 → **299円**

△ 45%

ハイボール（税抜価格）

453円 → **199円**

△ 56%

※1/14現在、一部店舗で価格が異なります

運営効率・構造

通常メニュー数の絞り込み

89品 → **63品**

△ 29%

+

新武器「焼き鳥」メニュー導入

焼鳥	
・ねぎ	・皮
・トマト	・もも
・ねぎ	・ほんじり
・しいたけ	・尻尾
・うずら	
・月見づくね	
・つくね（塩・タレ）	
・鶏ねぎ	
・ふりごで（肩肉）	
・軟骨（ヤゲン）	
・手羽二ノニク	
・砂肝（胃）	
・レバー（肝臓）	
・せせり（首肉）	
・五ねぎ間（もも部）	
・もも	
・ぼんじり	
・皮	
・トマト	
・ねぎ	
・しいたけ	
・うずら	
・月見づくね	
・つくね（塩・タレ）	
・鶏ねぎ	
・ふりごで（肩肉）	
・軟骨（ヤゲン）	
・手羽二ノニク	
・砂肝（胃）	
・レバー（肝臓）	
・せせり（首肉）	
・五ねぎ間（もも部）	
・もも	
・ぼんじり	
・皮	

リニューアル効果

売上高前年比

111%



- ・3Q進捗：原価、コスト増を吸収しきれず3Qまで減益も、出店加速で4Q商戦へ
- ・4Q見通し：商戦期（年末年始）含む4Qの利益最大化で挽回狙う

通期業績予想の前提（2025年4月14日発表）

- ✓ 売上高 重点施策の磯丸水産エリア別価格、鳥良商店リニューアル効果で增收。訪日客引き続き
- ✓ 費用 生ビール、米価格上昇も粗利率維持。電気・ガス料金は補助金効果剥落で上昇する見通し
- ✓ 出店 前期並み。中期的な成長のために引き続き投資おこなう

(百万円)	26/2期3Q実績 (25年3月～11月)	26/2期業績予想 (25年3月～26年2月)	進捗率
売上高	22,750	32,500	70.1%
営業利益	1,025	2,500	41.0%
%	4.5%	7.7%	—
経常利益	1,117	2,600	43.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	688	1,700	40.5%

百万円未満は切り捨てて表示

株主還元 (変更なし)

・ 2026/2月期 中間実績 14 円/株、期末予想 (変更なし) 14 円/株

配当金

	22/2月期		23/2月期		24/2月期		25/2月期		26/2月期	
中間/期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末 (予想)
配当金/株	0	10円	10円	10円	11円	12円	13円	13円	14円	14円

株主優待制度

基準日	2月末日	8月31日
贈呈時期	5月中旬	11月中旬
保有株式数	100～499株	お食事券 4,000円分
	500～999株	お食事券 10,000円分
	1,000株～	お食事券 20,000円分

既発の株主優待券

ご利用期限：26年5月31日



システムメンテナンスに伴う株主優待システムの一時停止のお知らせ

【停止期間】 2026年2月19日（木）午前0時00分～午前7時00分 ※作業時間は多少前後する場合がございます

【対象機能】

- ・全店舗でお会計時の株主様ご優待券（専用アプリ及び紙面）のご利用
- ・専用アプリ上での株主様ご優待券の取り込み及び表示

株主優待 - よくあるご質問 -

合弁会社 CMD・ファストワーカス

サステナビリティ経営

損益計算書

貸借対照表

出退店の状況

既存店前年比

株主様ご優待券 よくあるご質問 (再掲)

Q1 専用アプリに優待券を読み込んだ後も、紙の優待券は使えますか？



A1 ご利用可能です。「ご優待券のコピーが専用アプリに格納された」とご理解ください。また、アプリに読み込んだご優待券は、残高が0円になるまで保管いただくことを推奨しております。

Q3 一度のお会計で使い切らなければいけませんか？



A3 専用アプリ・紙のいずれのご優待券をご利用でも、未使用分の残額はご優待券に保持されますので、一度で使い切る必要はありません。残額は次回ご来店時に引き続きご利用いただけます。

Q2 1枚の同じ優待券を2人の専用アプリに読み込むことはできますか？



A2 読み込み可能です。ただし、残高の切り分けはできません。お財布を共有しているイメージですので、①で利用された場合、②の残高も減額されます。

Q4 利用する金額を指定することはできますか？



例) 3,500円のお会計で残高が4,000円のご優待券を使用した場合
→ お会計3,500円が残高から充当され、残額の500円はご優待券に保持されます

A4 ご優待券の残高の範囲内でお会計全額が自動的に減算されるため、金額のご指定はできかねますが、残額は次回ご来店時に引き続きご利用いただけます。

合弁会社 CMD・ファストワークス

- CRH社^(※)と合弁会社設立 グループ各社協調で全体最適図る
 - 2025年3月 CMD社 グループ内の物流効率化を目的に全国に8か所あった物流拠点を
関西(22/9月～)、関東(new 25/3月～)の基幹ディストリビューションセンター(DC)に集約
 - 2025年6月 ファストワークス社設立 グループのノウハウ共有、価格交渉一元化で店舗開発、メンテナンスの効率化 new



株式会社 **CMD**
creative merchandising

(2021年9月～)

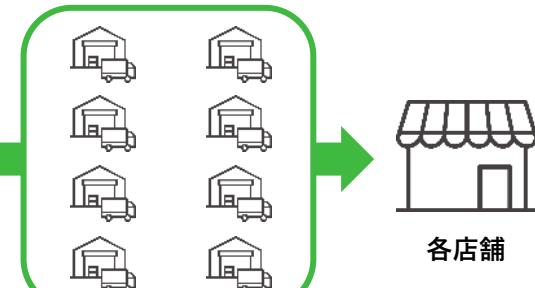
円安・物価上昇
食品・ビール各社値上げ

共同購買
単価低減

物流全体
見直し

これまで8拠点(関東3・中京1・関西4)

メーカー・商社等



各店舗

原価率UP
抑制



資材・人件費高騰
施工費上昇

ノウハウ
共有

価格交渉
一元化

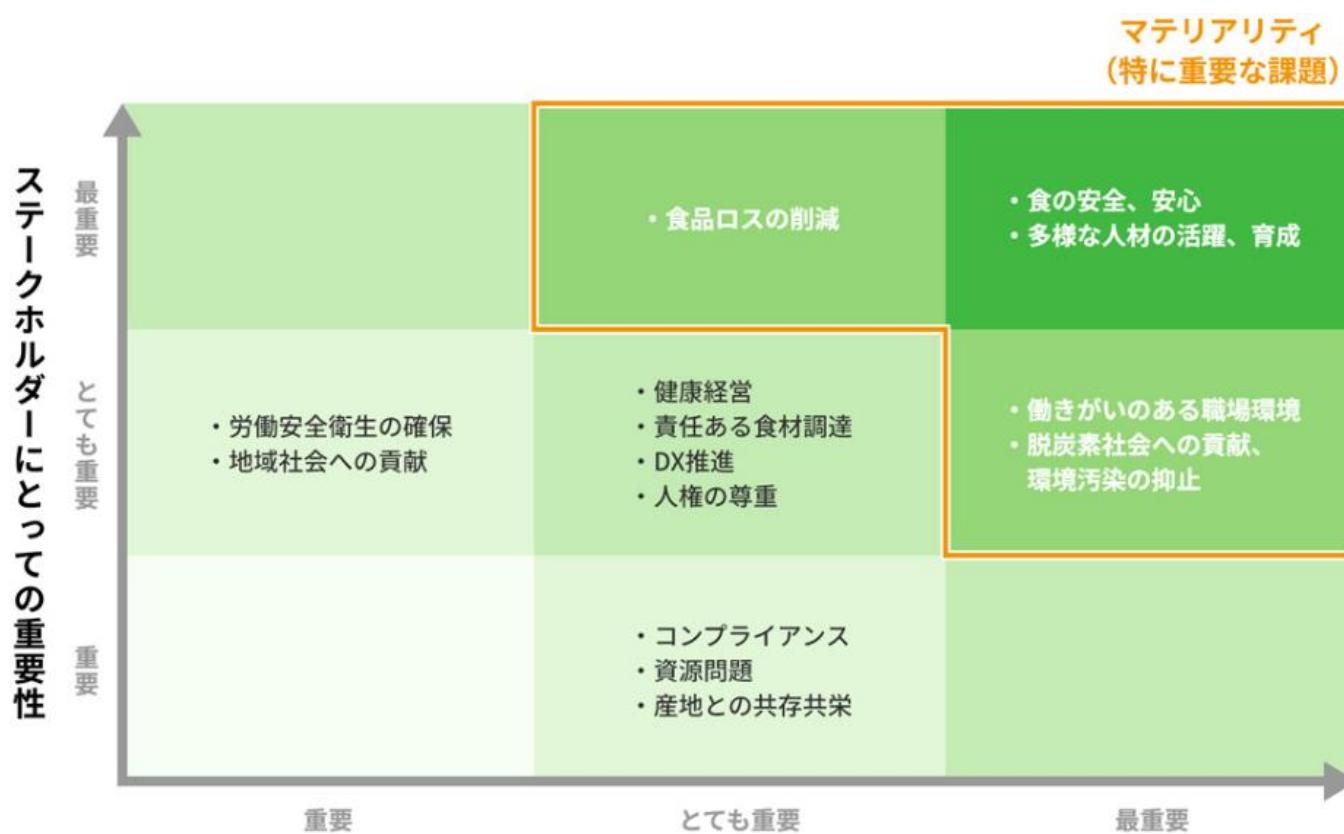
設計・施工・メンテ
効率化

(※CRH:クリエイト・レストランツ・ホールディングス)

サステナビリティ経営

サステナビリティ基本方針

当社ビジョンである『日本を豊かにする「食」の専門店集団を目指す』の考え方のもと、当社グループは、食の様々なシーンを通じてステークホルダーに対し「豊かさ」を提供し続けることで、持続可能な社会の実現に貢献し、長期的なグループ企業価値向上を目指します。



当社事業にとっての重要性



トップコミットメント



当社グループは、ビジョンである「日本を豊かにする「食」の専門店集団を目指す」の考え方のもと、食の様々なシーンを通じてステークホルダーに対し「豊かさ」を提供し続けることで、持続可能な社会の実現に貢献し、長期的なグループ企業価値向上を目指します。また、私たちの業界が直面している環境問題や社会的課題を認識し、それに対する具体的なアクションを取ってまいります。

1. 食品ロスの削減

食品ロスは我々にとって重要な責任、課題と捉えています。私たちは、適切な在庫管理やメニューの見直しによる過剰在庫の抑制、また、廃油のリサイクルなど資源の有効活用を通じて食品ロス対策に取り組んでまいります。

2. プラスチックの削減

使い捨てプラスチック製品の使用を減らすために、紙ストローの導入やプラスチック含有量を抑えた食器や包装の導入を推進しています。

3. エネルギー効率の向上

店舗のエネルギー効率を改善するために、節水コマやLED照明、省エネ機器の導入を進めています。また、再生可能エネルギーの活用も積極的に検討し、環境負荷の低減に向けて取り組んでまいります。

4. 多様な人材の活躍推進

年齢、性別、国籍等にかかわらず、個の多様性を活かしてそれぞれの能力を最大限発揮するため、従業員一人ひとりが、その役割や地位を超えて尊重しあえる職場環境、制度を整備し、働きがいのある職場づくりを推進してまいります。

SFPホールディングス株式会社
代表取締役社長 佐藤 誠



当社HP <https://www.sfpdining.jp/sustainability/>

損益計算書

(百万円)	2024年2月期				通期	2025年2月期				通期	2026年2月期			上期計
	1Q (3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-2月)		1Q (3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-2月)		1Q (3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	
売上高	7,156	7,130	7,024	7,768	29,079	7,671	7,365	7,273	8,078	30,389	7,751	7,593	7,405	22,750
鳥良事業	1,342	1,237	1,236	1,348	5,165	1,359	1,260	1,271	1,386	5,278	1,357	1,326	1,264	3,948
磯丸事業	4,333	4,309	4,257	4,713	17,614	4,655	4,465	4,402	4,937	18,461	4,583	4,433	4,236	13,254
その他事業	1,011	1,031	1,035	1,176	4,253	1,143	1,135	1,112	1,268	4,659	1,230	1,257	1,360	3,848
連結子会社	468	552	494	530	2,046	512	504	486	486	1,989	580	575	543	1,698
売上原価	2,089	2,062	2,028	2,225	8,406	2,238	2,155	2,131	2,318	8,843	2,337	2,294	2,240	6,872
売上総利益	5,066	5,067	4,995	5,543	20,672	5,432	5,210	5,141	5,760	21,545	5,413	5,298	5,165	15,877
販管費	4,473	4,651	4,704	4,816	18,645	4,822	4,913	4,685	4,937	19,358	4,819	5,034	4,998	14,851
営業利益	592	416	290	726	2,026	609	297	456	822	2,186	593	264	166	1,025
営業外収益	64	60	58	69	252	62	59	62	85	270	43	54	47	145
営業外費用	1	23	5	12	42	2	3	5	164	175	37	8	7	53
経常利益	655	453	343	783	2,236	670	353	513	743	2,281	599	311	207	1,117
特別利益	2	10	0	0	12	6	3	0	4	14	0	0	0	0
特別損失	0	193	113	160	468	0	8	1	81	91	4	77	7	89
税前当期純利益	657	270	229	623	1,780	676	348	512	666	2,204	594	234	199	1,028
法人税等	167	108	34	△260	49	198	120	183	216	719	204	90	44	339
親会社株主に 帰属する当期純利益	489	162	194	884	1,731	477	227	329	450	1,485	389	143	155	688

百万円未満は切り捨てて表示

貸借対照表

(百万円)	2024年2月期				2025年2月期				2026年2月期		
	1Q (23年5月末)	2Q (23年8月末)	3Q (23年11月末)	4Q (24年2月末)	1Q (24年5月末)	2Q (24年8月末)	3Q (24年11月末)	4Q (25年2月末)	1Q (25年5月末)	2Q (25年8月末)	3Q (25年11月末)
流動資産	10,424	10,594	4,457	5,906	6,001	6,349	6,276	6,760	6,155	6,275	5,661
うち現預金	9,244	9,418	3,028	4,518	4,509	4,885	4,704	5,277	4,414	4,553	3,805
固定資産	7,164	7,203	7,238	7,396	7,275	7,276	7,195	7,202	7,135	7,228	7,420
投資その他の資産	3,095	3,145	3,162	3,593	3,542	3,581	3,544	3,649	3,640	3,710	3,675
資産合計	17,588	17,798	11,695	13,303	13,276	13,625	13,472	13,963	13,290	13,503	13,082
流動負債	3,600	3,708	3,660	4,407	4,178	4,230	4,041	4,098	3,334	3,410	3,142
うち有利子負債	405	385	385	1,033	1,023	818	798	782	72	67	62
固定負債	1,222	1,168	1,148	1,151	1,144	1,184	1,182	1,132	1,138	1,131	1,149
負債合計	4,823	4,876	4,809	5,559	5,322	5,415	5,224	5,231	4,472	4,541	4,291
純資産合計	12,765	12,921	6,886	7,744	7,953	8,210	8,248	8,732	8,818	8,961	8,790
負債・純資産合計	17,588	17,798	11,695	13,303	13,276	13,625	13,472	13,963	13,290	13,503	13,082

百万円未満は切り捨てて表示

出退店の状況

(店舗数)	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2025年5月末	2025年8月末	2025年11月末
直営	201	194	189	190	191	193	198
磯丸水産	103	104	99	99	99	※99	101
鳥良	43	37	35	35	35	35	35
その他（五の五）	24 (4)	27 (4)	30 (8)	33 (14)	33 (14)	※35 (15)	37 (16)
連結子会社（磯丸水産）	31 (3)	26 (3)	25 (4)	23 (5)	24 (5)	24 (5)	25 (5)
フランチャイズ (磯丸水産・磯丸水産食堂)	14	16	16	18	19	19	20
計	215	210	205	208	210	212	218
出店	1	5	8	8	2	2	8
退店	13	10	13	5	0	0	2
増減	△12	△5	△5	3	2	2	6

※ 第2Q 「磯丸水産」から「その他」への業態転換1店舗あり

既存店前年比（売上高）

2026年2月期	2025年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	通期計
	97.3%	100.0%	101.1%	96.8%	98.9%	104.2%	96.4%	99.0%	98.9%	—	—	—	99.2%
2025年2月期	2024年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	通期計
	107.9%	103.9%	105.3%	107.4%	100.4%	104.0%	105.8%	102.1%	108.1%	103.7%	107.2%	102.9%	104.9%
2024年2月期	2023年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	通期計
	276.6%	132.7%	121.7%	113.8%	128.4%	136.5%	122.2%	109.1%	111.1%	116.3%	111.3%	111.3%	125.1%

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗

本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

S F P ホールディングス 経営企画部

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>